

第9回例会 2021年9月1日(水)曇 No.2991

■卓話■

細野裕之会員

30年後の世界はどんな風景になっているのか  
 ～脱炭素社会がもたらすもの～

皆さんも想像してみてください。30年後ってどんな世界になっているのか？

現在2021年の30年前といえば、1991年バブルが崩壊し「失われた10年」の始まりの年となりました。東京ではジュリアナ東京が誕生し若者（当時の私は23歳）は熱狂していました。世界では湾岸戦争が勃発。ソ連崩壊、アウンサンスーチー氏がノーベル平和賞を受賞。一方でエコロジーがより広く意識されるようになり、国内でも「地球にやさしい」がキーワードとなりました。しかしながら過去直近の30年間は全く地球にやさしくないことを人類は行ってきたことに、世界はようやく気付き始めました。

最近の夏は暑いなーと思ったり、今年は雪が少なくあったかいなーと思ったり、鮭やサンマが全く捕れなかったりと思ってる方は多いと思います。実は気温も海水温も過去2000年間の間で1950年～2020年までは前例のない速度で上昇しているのです。

パリ協定は2015年12月にフランス・パリで開催されたCOP21（国連気候変動枠組条約第21回締約国会議）で世界200か国が合意して成立しました。国際社会全体で温暖化対策を進めていくための礎となる条約で、世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して、2℃より低く抑え、1.5℃に抑える努力を追求することを目的としています。その達成のために、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）が示す科学的根拠に基づいて21世紀のなるべく早期に世界全体の温室効果ガス排出量を実質的にゼロにすること、つまり「脱炭素化」を長

期目標として定めています。

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の2018年の報告では世界の平均気温は産業革命前に比べて、人間活動によって約1℃上昇しており、このままの経済活動が続けば、早ければ2030年には1.5℃の上昇に達し2050年には4℃を超える気温上昇が見込まれております。気温上昇を2℃未満に抑えるためには2075年頃には脱炭素する必要がある、努力目標である1.5℃に抑える為には2050年に脱炭素化をしなければならぬことが分かっています。

先日2021年8月20日にIPCCから第6次評価報告書が暫定訳にて公表されました。この報告書は、国際社会が温室効果ガスの排出を止めなければ、差し迫った災害が発生するという暗い予測を含んだ、一連の気候変動報告書の最新版です。小氷期（14世紀～19世紀半ば）の終わり以降の温暖化の全体が、化石燃料の燃焼による人間のCO2排出によるものと結論づけている点で異例なものです。また、その中に「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。大気、海洋、雪氷圏及び生物圏において、広範囲かつ急速な変化が現れている。」と真っ先に表記してありました。そうです。人類がこの地球を壊してきた張本人なのです。このまま、人類がなにも対策をとらなければ、30年後の2050年には平均気温は現在より4℃気温が上昇すると言われております。日本では東京の気候は現在の屋久島と同じ環境になると言われています。今世紀末には30℃以上の真夏日が現在の倍以上の年間100日を超えるそうです。また、海水温の上昇により氷河や氷床が融解し海面が82cm程度上昇します。現在に比べて砂浜は82%が消滅すると言われております。その他、台風の激化、洪水の増加、食料不足、漁獲

量減少、季節感の喪失など影響は甚大です。

日本政府は2050年までに温室効果ガスの排出量の実質ゼロを目指すとしていますが、今後の脱炭素社会への各企業の対応が課題となっています。8/23の岩手日報に脱炭素社会の進展による自社への影響を調査した記事が載っていました。自社にプラスと答えた企業は14.6%。マイナスの影響と答えた企業が22.9%、影響はないと答えた企業が

28.1%、わからないが34.4%でした。これからの企業は脱炭素社会を意識しながら経済活動をしていかなければなりません。脱炭素社会は実現できるのか？30年後私たちはどんな世界に住んでいるのか？どんな世界を未来に残せるのか？壊してきたのも人類であれば再生させるのも我々人類であってほしいと願っております。

---

## ■ 幹事報告 ■

### 1. 理事役員会報告

事務局のパソコンについて

Web可能、例会等持ち歩き可能にするため  
ノートパソコンの購入を承認

Zoomミーティングに慣れるため途中参加、  
途中退出可能な懇親会から始めてみる

(9/8 18時30分～開催)

### 2. 市内他クラブの9月例会について

盛岡南 9/14・21・28休会 10月からは再開の  
方向で検討中

事務局執務日 火、水、木 9時半～15時